

FSC森林認証を活用した 浜松市の森林・林業政策

- FSC森林認証の概要
- 浜松市におけるFSCの取得・推進
- 浜松市の森林・林業政策
- 主要事業

令和3年4月28日
浜松市産業部林業振興課

FSC森林認証の概要

FSC森林認証制度の概要

- 「森林が適切に管理されているか」を、第三者機関が全世界統一の基準に沿って審査、認証するもの
- それらの森林から生産された木材・木材製品へ認証ラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて持続可能な森林経営を支援する制度
- 違法伐採や保護する価値の高い森林の伐採を防ぐ効果的な仕組み

※ FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会)

※ FSC本部: ドイツ ボン

認証の種類

- FM (Forest management) 認証 / 森林管理が対象
- COC (Chain of Custody) 認証 / 加工・流通・工務店等が対象
- ※ FSC取得状況 (2020.7.1現在)
 - ・ FM認証: 1,725件/211百万ha【国内35件/414千ha】
(認証面積が多い国は、カナダ、ロシア、アメリカ、スウェーデンなど、ヨーロッパや北アメリカでの取組が進んでいる)
 - ・ COC認証: 42,761件【国内1,584件】
(COC取得数は、中国、イタリア、アメリカ、ドイツ、イギリス、ポーランドについて日本は世界で7位)



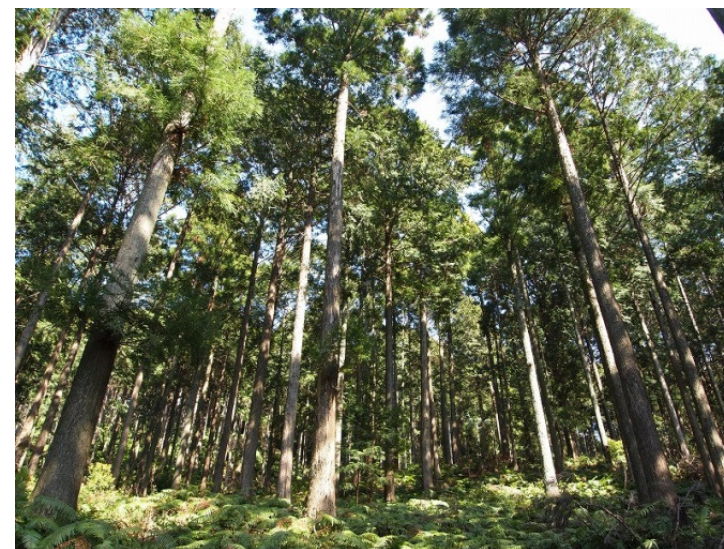
責任ある森林管理
のマーク

【FSCロゴマーク】

FSC森林認証の概要

FM認証の柱

- 1 **社会的な便益**を発揮する
 - ・ 法律、規則を守る
 - ・ 地域社会と良好な関係を築く
 - ・ 働きやすい場所を提供する など
- 2 **環境に適切に配慮**する
 - ・ 貴重な動植物を保護する
 - ・ 生態系保護区を設ける
 - ・ 残存木や林地への損害を最小限に抑える など
- 3 **経済的な継続性を確保**する
 - ・ 長期の収穫、収入計画を立てる
 - ・ 廃材を極力抑え、木材を最大限活用する
 - ・ 木材以外の収入源の確保に努める など



【浜松市内のFSC森林】

FSCの価値

- 1 国際性
世界の関係者に対し、所有森林の管理の取組を顕示しやすい、**国際的な認証**
- 2 客観性
客観性の高い審査を経た製品にロゴマークを付与し、**選択的購買を促す経済的手法**
- 3 透明性
透明性の高い民主的意思決定(総会・理事会)に基づく、**世界で最も信頼される森林管理の基準**
- 4 アクセシビリティ
森林管理者～製造者・流通者～消費者に至る一連の関係者を森林認証により一体化することで、**あらゆる人に世界の森林問題解決の運動に参加する機会を提供**

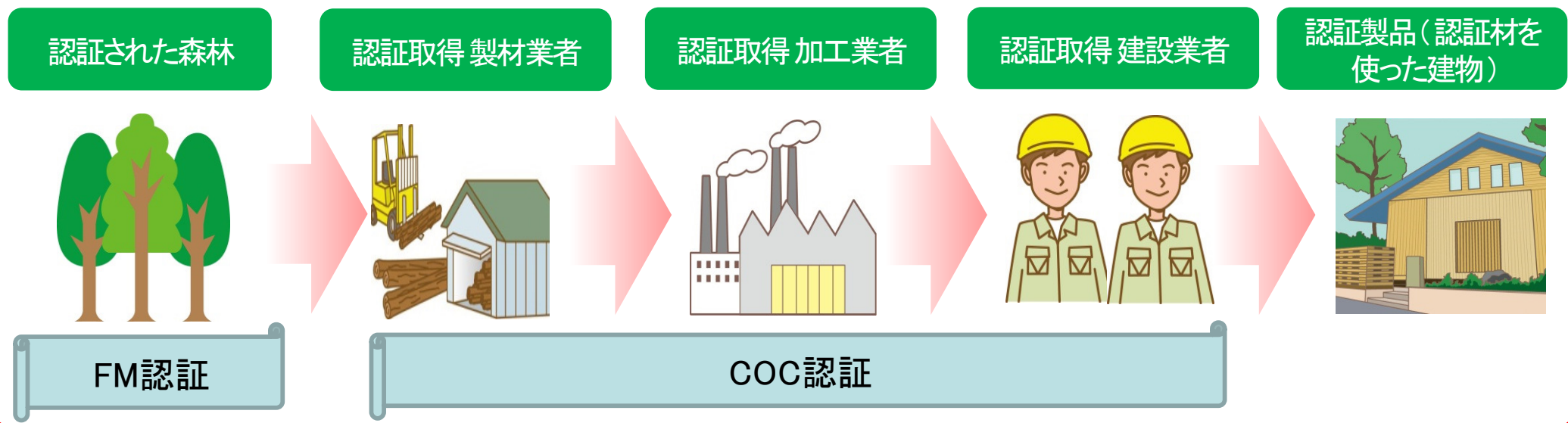


【FSC認証材(丸太と製品)】

FSC森林認証の概要

- 認証製品ができるまでには、FM認証、そして、COC認証を取得した事業者のルートを通らなければならない (FSC、SGEC (PEFC) も同様)

認証製品ができるまでの流れ



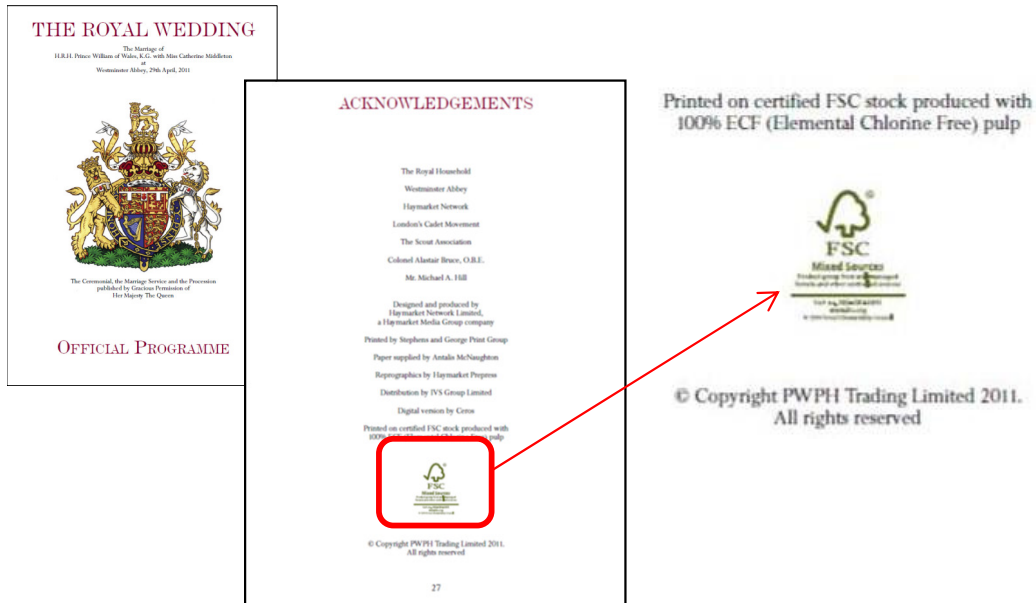
COC認証を取得していない事業者が
製品を扱う(所有権を有する)と...

【非認証製品】
(認証材を使った
と言えない)

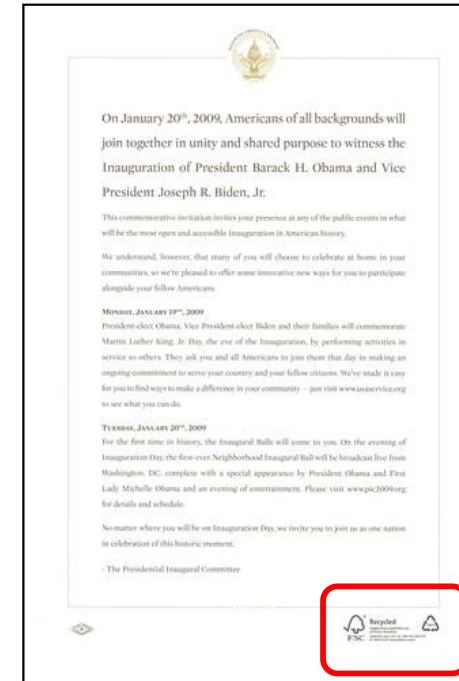


(参考:FSC認証紙の活用事例)

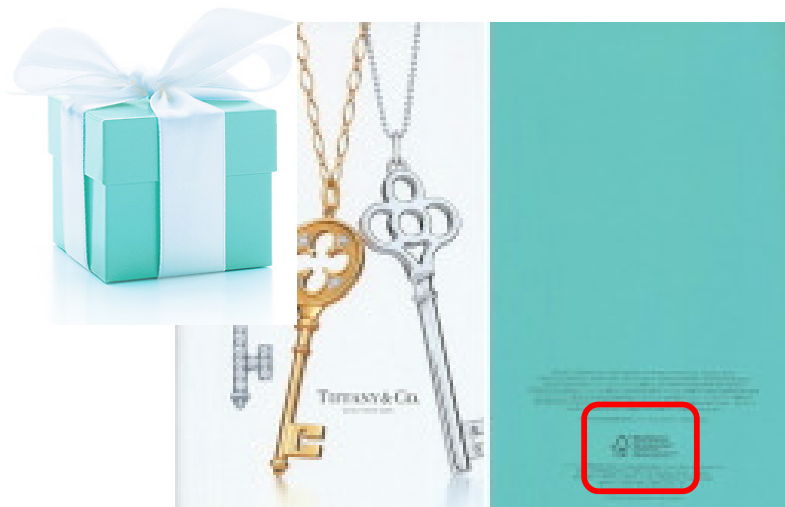
英王室ウィリアム王子ロイヤルウェディング



オバマ前大統領就任式典招待状



TIFFANY & Co.



GUCCI



(参考:FSC認証材の活用事例)

伊勢志摩サミット

〔首脳会議用テーブル〕



〔シェルパ机〕



〔三角プレート〕



〔コースター〕



〔尾鷲わっぱ〕



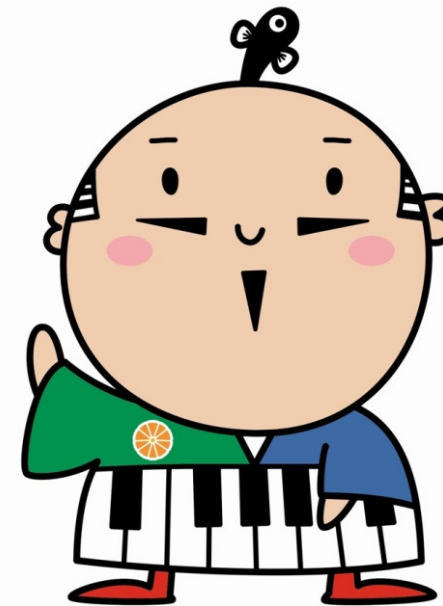
浜松市におけるFSCの取得・推進

浜松市プロフィール

- 人口 797,938人(令和3年4月1日現在/住民基本台帳による)
- 面積 1,558.06km²
 - ・ 岐阜県高山市に次いで全国2位
- 自然
 - ・ 北は赤石山系、東は天竜川、南は遠州灘、西は浜名湖と四方を山・川・海・湖の異なる環境に囲まれ、都市と自然が共存したまち
 - ・ 気候1年を通じて温暖で恵まれた気象条件
- 交通
 - ・ 東京と大阪のほぼ中間に位置し、東海道新幹線や東名高速道路など、古くから交通の要衝として栄えてきたまち



はままつ **福** 市長



© 浜松市



浜松市におけるFSCの取得・推進

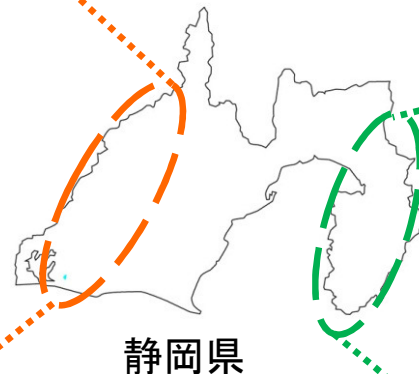
浜松市 **1,558.06km²**

(市町村別面積全国2位)

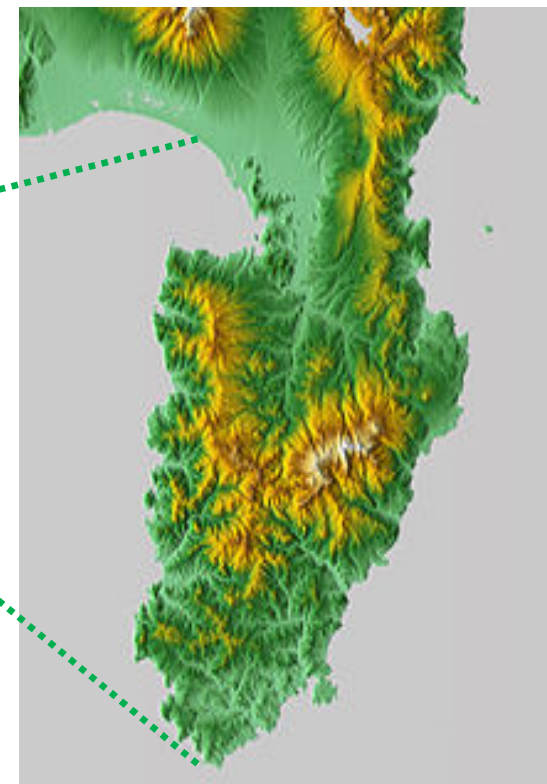
> 伊豆半島 1,421.24km²

平成17年7月1日
12市町村合併

平成19年4月1日
政令指定都市移行



静岡県



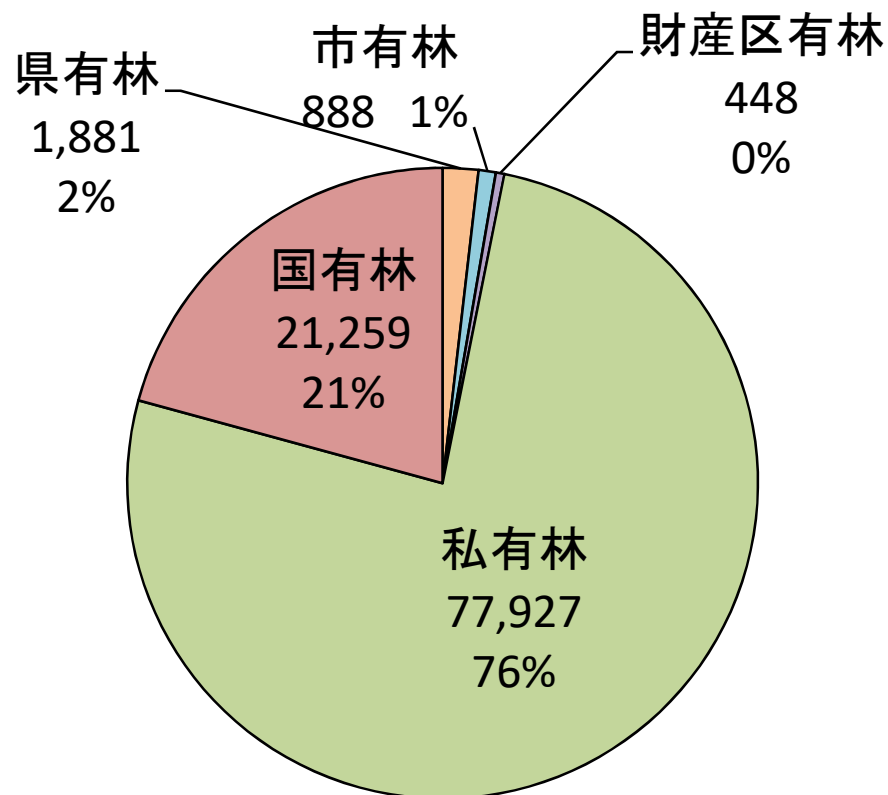
市域面積の66%にあたる**1,030km²が森林**

浜松市におけるFSCの取得・推進

- 浜松市の森林の特徴としては、私有林が多く、更に、非常に人工林が多い
- 人工林については、スギ、ヒノキの面積が大部分を占める(スギ:62.6%、ヒノキ:34.9%)

浜松市の森林の状況

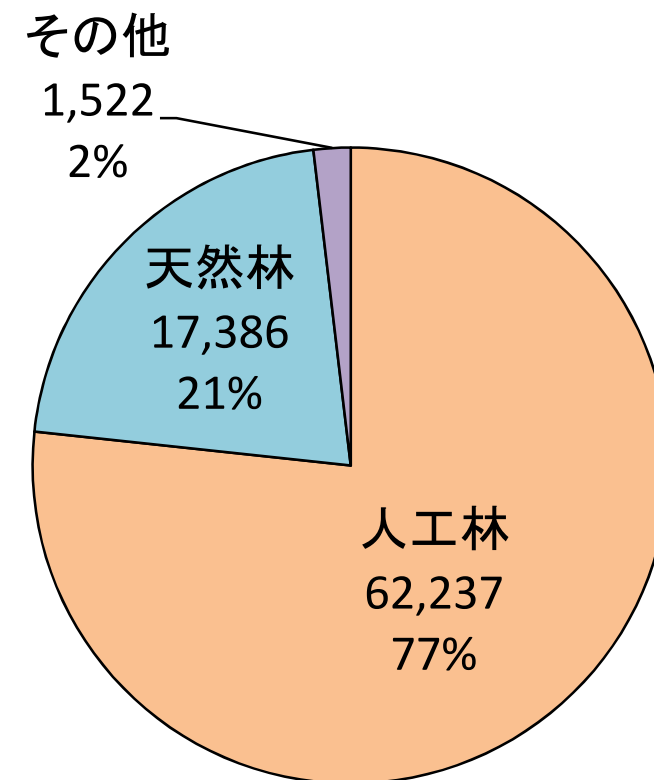
(単位:ha)



出展／静岡県森林・林業統計要覧
(令和2年度版)

うち民有林の状況

(単位:ha)

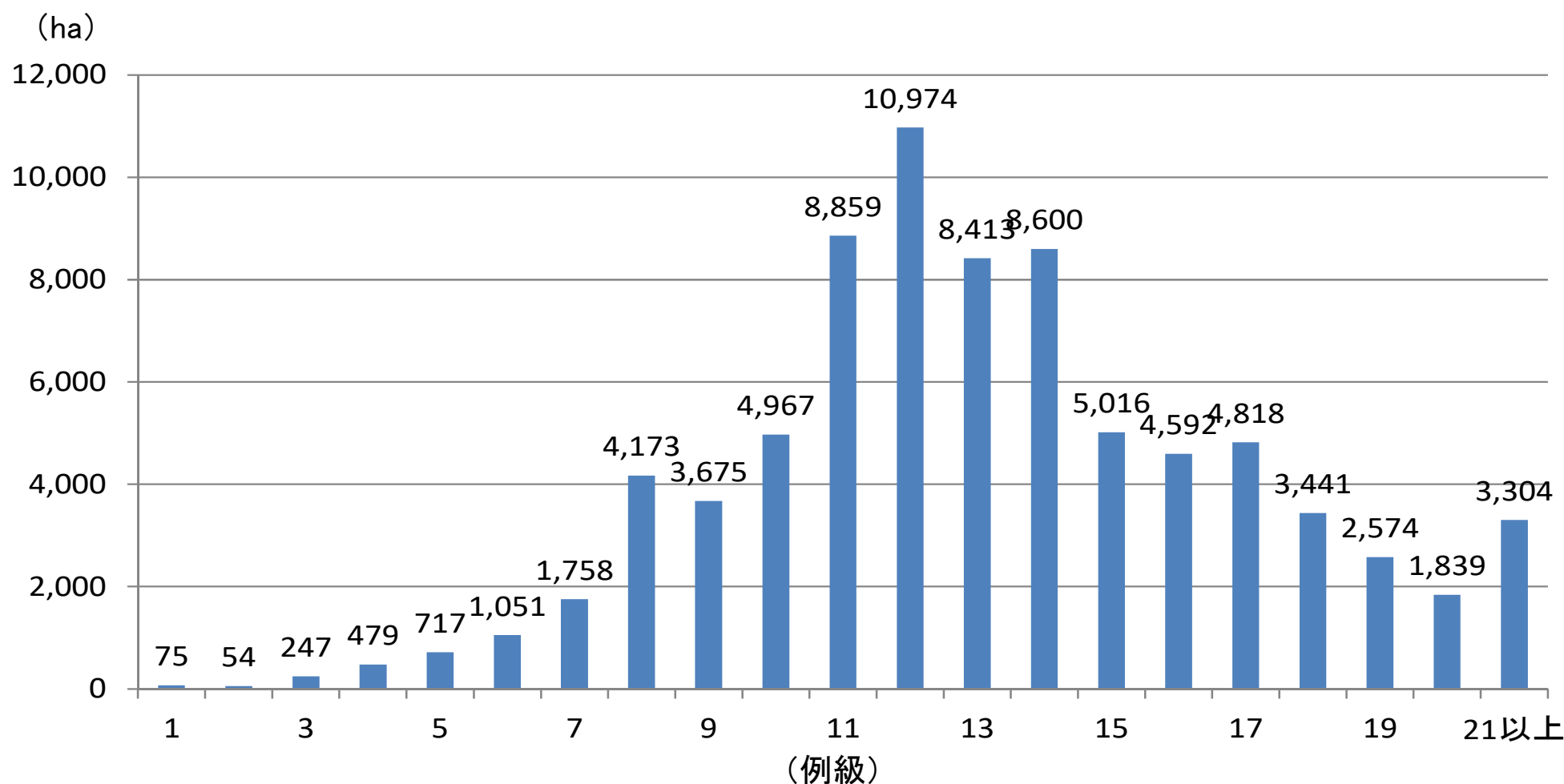


出展／静岡県森林情報システム
(令和2年3月31日現在)

浜松市におけるFSCの取得・推進

- 浜松市の森林の林齢構成は、12齢級(56～60年生)を筆頭に11～14齢級が多い
- 21齢級(100年生以上)の森林も存在し、資源量が豊富なことが強みだが、若年生の森林が少ないことが課題

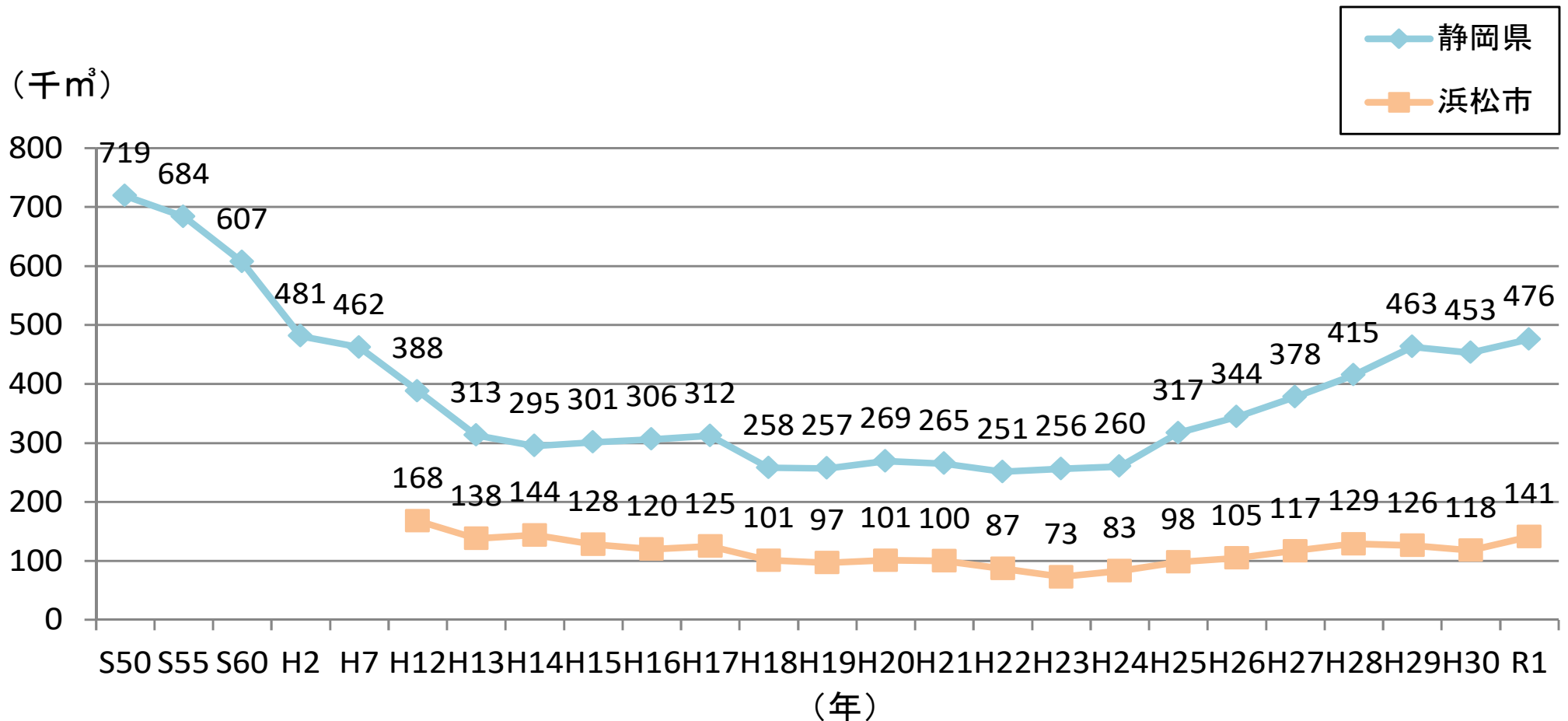
齢級別森林資源表



浜松市におけるFSCの取得・推進

- 浜松市の木材生産量は静岡県が生産量の2.5～3割を占め、近年、増加傾向であり、令和元年度は17年ぶりに14万m³台となった
- 木材生産のうち、皆伐と利用間伐の割合は3:7で、近年、皆伐は増加傾向

静岡県及び浜松市の木材生産量の推移

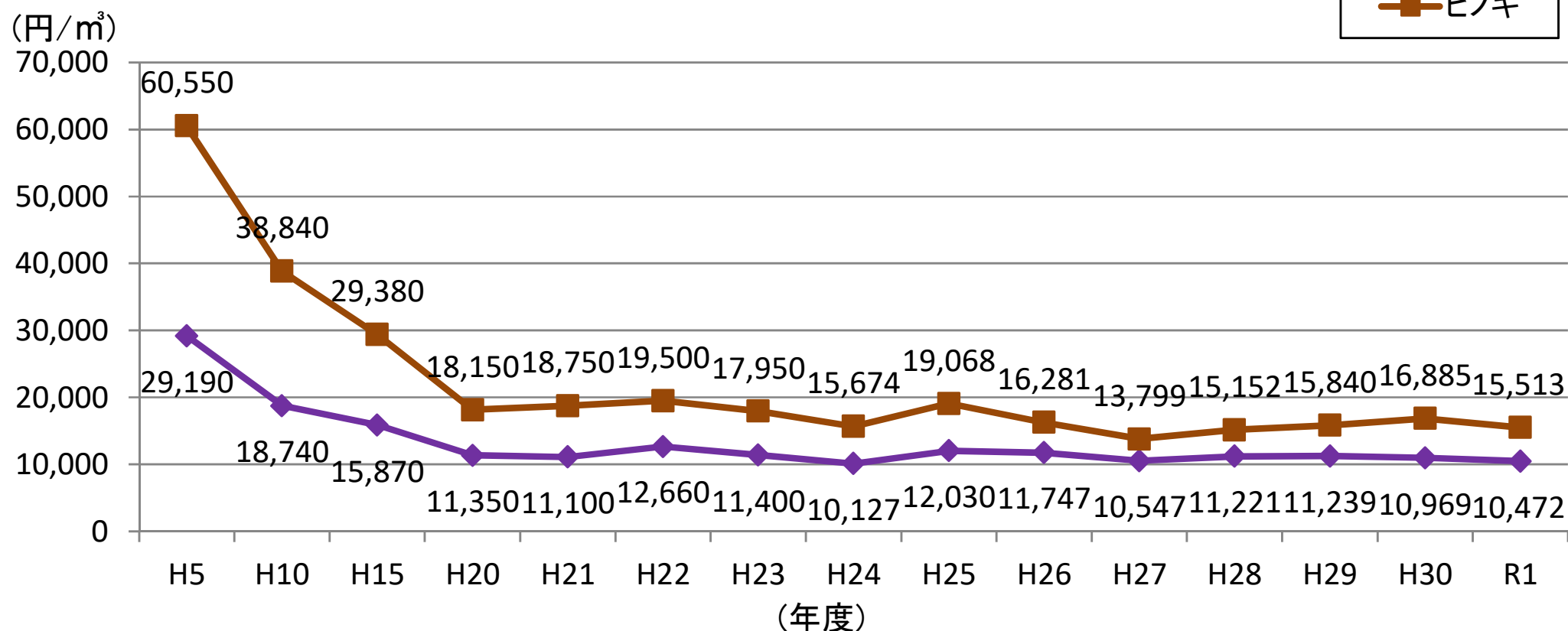


浜松市におけるFSCの取得・推進

- 本地域の木材価格は、平成5年度から大きく下落(スギ:約40%、ヒノキ:約25%)
- 直近10年間は下げ止まりの状況で大きな変化の兆しはなし

スギ、ヒノキの木材価格の推移

スギ、ヒノキの木材価格の推移(静岡県森林組合連合会天竜営業所)



浜松市におけるFSCの取得・推進

森林・林業ビジョンの策定

○ 平成17年7月合併 新「浜松市」

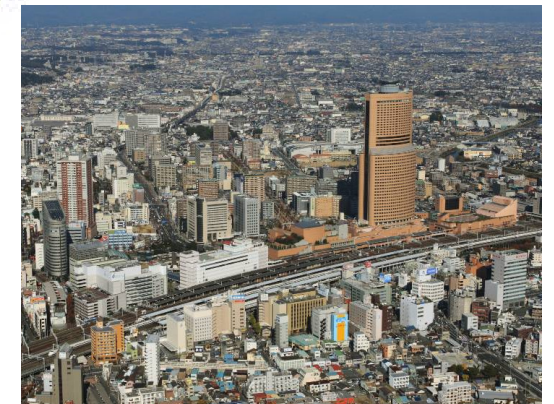
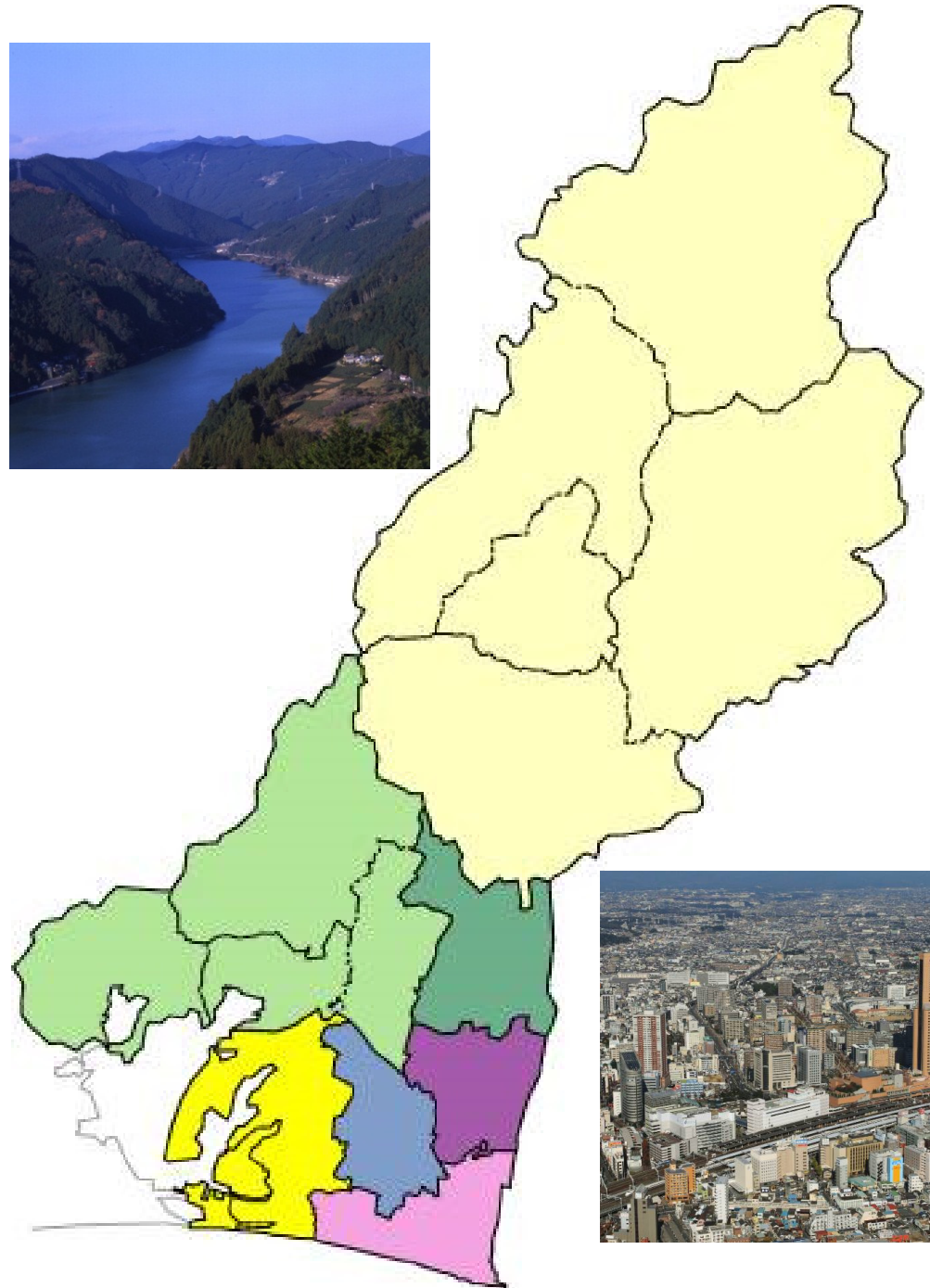
- ・ 12市町村が合併、平成19年4月に政令指定都市へ移行

○ 面積が広く、人工林が多い浜松の森林

- ・ この森林をどうするか・・・？

○ 浜松市森林・林業ビジョンを策定

- ・ 平成19年3月策定
- ・ 中長期的(30年後)な視点で、浜松市の森林・林業のあるべき姿(将来像)、森林経営・管理の方針などを描いた



〔 国、県、市の森林面積 〕

(千ha)

	全域面積	森林面積	森林率	人工林率
国	37,790	25,050	66.3%	41%
静岡県	778	497	63.9%	59%
浜松市	156	102	65.7%	77%

※ 国:「令和元年度版 森林・林業白書」

※ 県、市:「静岡県森林・林業統計要覧(令和2年度版)」

浜松市におけるFSCの取得・推進

浜松市森林・林業ビジョンの骨子

将来像

森林経営・管理の方向

【理念】

【目 標】

【戦 略】

【方 針】

価値ある森林の共創

森林

持続可能な
森林経営・管理

「育てる林業」から
「売る林業」への進化

・低コスト林業の推進
【森林認証、COC認証
の取得】

市域

森林でつながる
循環型社会

森林を活かす
新たな取組みの展開

・担い手の育成
・木材産業の再構築

市民

森林とふれあう
市民の快適生活

市民一人ひとりの
森林経営・管理への参加

・森林産業の創出
・多様な主体の参加

・市民の意識向上
・地産地消の推進

浜松市におけるFSCの取得・推進

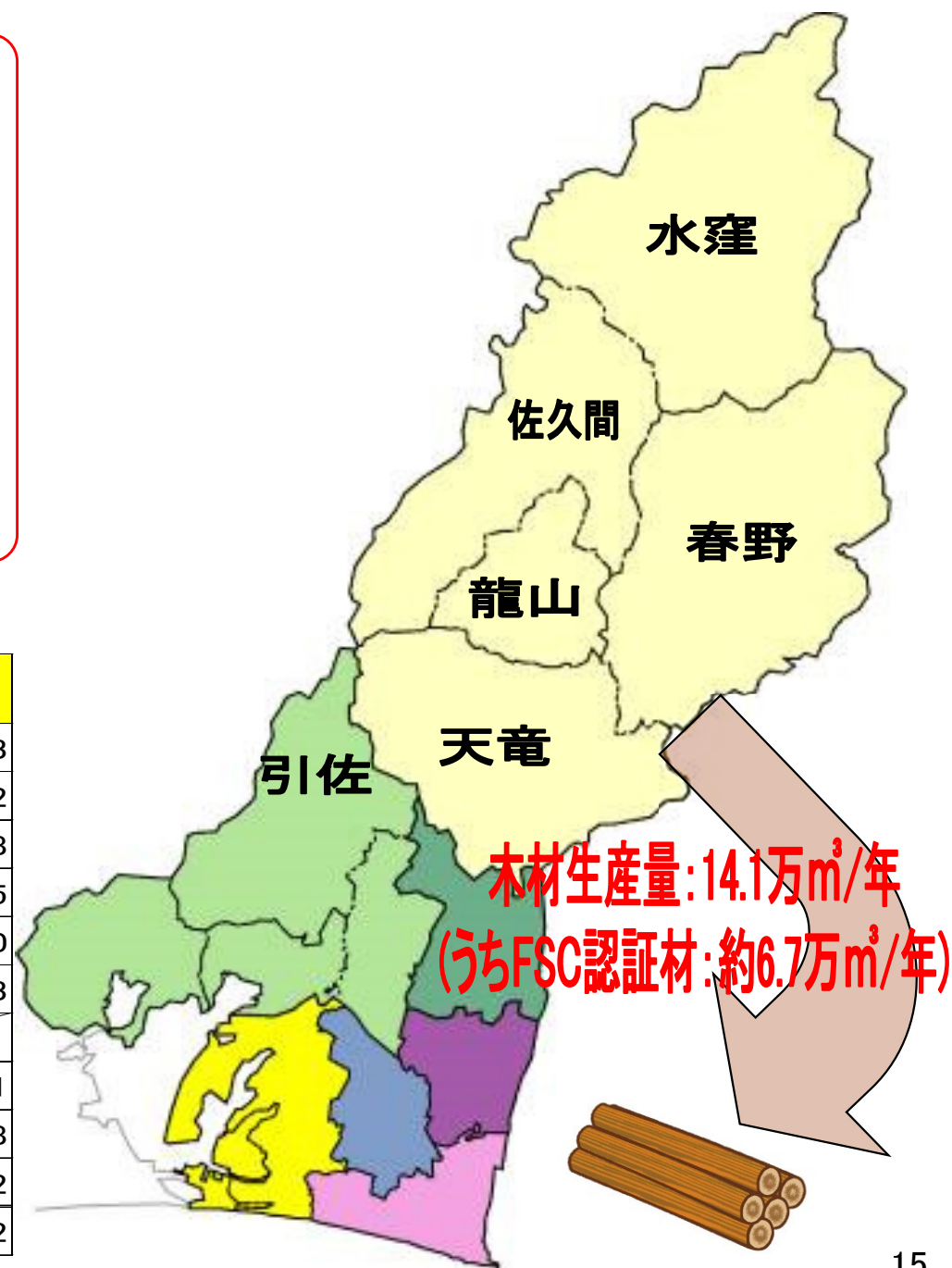
浜松市におけるFSCの取得状況

- H22.3月にFSCを取得(国、県、市内6森林組合とのグループ認証)
- 森林組合が連携して取得したのは、全国初の事例
- 現在、市町村別認証取得面積は全国1位、取得者別では全国2位(約49.1千ha)
- 市内のCOC取得者数(木材関係)は、約70事業体となり、素材生産業者をはじめ、製材・加工業者、建築業者等が取得。全国で最もFSCのサプライチェーンが繋がっている地域のひとつ

〔 FSC取得面積と材積(R3.4.1現在) 〕

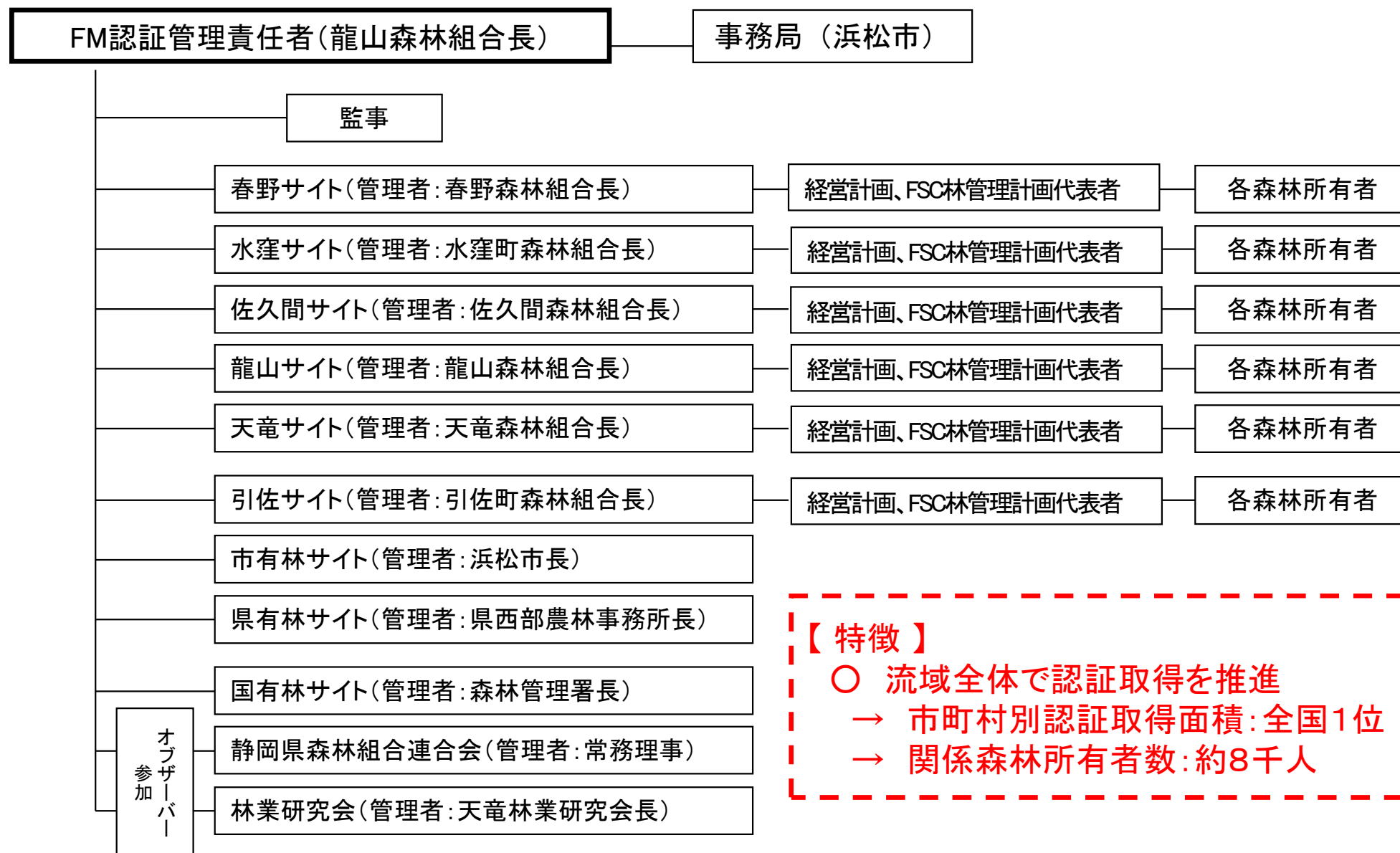
森林組合名	森林面積 (ha)	FSC認証林面積 (ha)	認証取得割合 (%)	FSC認証林 想定蓄積量(m ³)
天竜	14,933	13,943	93%	4,318,833
春野	23,191	13,385	58%	4,006,822
佐久間	15,405	4,773	31%	1,622,718
水窪	26,163	3,474	13%	958,115
龍山	6,593	4,334	66%	1,808,510
引佐	8,594	2,453	29%	639,963
その他	7,649			
市有林		641		23,731
県有林		1,189		233,238
国有林		4,939		1,264,912
計	102,528	49,130	48%	14,876,842

※ 「その他」は、旧浜松市、旧浜北市、旧舞阪町、旧雄踏町、旧細江町、旧三ヶ日町
 ※ 市・県・国有林の森林面積は、各管内の森林組合の面積に含む



浜松市におけるFSCの取得・推進

天竜林材業振興協議会森林認証部会 FM認証グループ 組織図



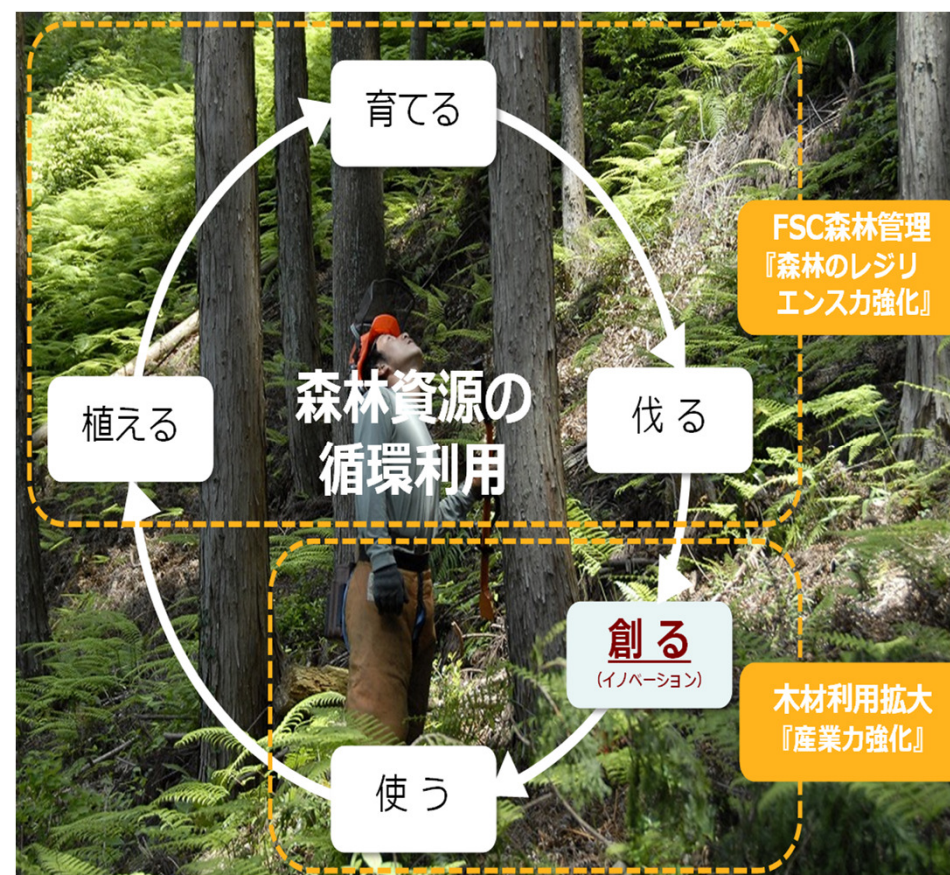
浜松版グリーンレジリエンス

FSC森林認証制度に基づく持続
可能かつ適切な森林管理

+

天竜材(FSC認証材)を活用した
新事業創出・木材利用の拡大

グリーンレジリエンスとは、(一社)レジリエンスジャパン推進協議会が提唱している新しい社会的概念であり、自然資本を活用して地域の防災・減災と産業振興を同時に進めていく活動のことを言う。
「浜松版グリーンレジリエンス」は、天竜美林の多面的機能の維持・強化と林業・木材産業の振興を同時に進め、地方創生を実現する活動。



天竜美林の多面的機能の強化
林業・木材産業の振興

浜松市の森林・林業政策

FSC森林認証制度に基づく森林整備・管理

- ・森林認証推進事業(FSC森林認証面積等の拡大)
- ・森林経営管理推進事業(森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査等)
- ・森林整備・林業振興事業(国県補助を活用した間伐、再造林等への支援、譲与税を活用した市単独事業)
- ・低コスト林業推進事業(森林作業道等の開設、補修や架線設置及び撤去に対する支援)
- ・林業機械・施設整備事業(高性能林業機械等の導入支援)
- ・(R3新)天竜材人材育成・担い手確保事業(新規雇用者給与、安全装備対策、技術向上活動等への支援)
- ・(R3新)スマート林業推進事業(林道管理システム構築、マッピングGISデータ取得) etc

天竜材(FSC認証材)の利用拡大

〔地産地消〕

- ・(拡充)天竜材の家百年住居事業(天竜材を活用した住宅建設の支援)
- ・天竜材ぬくもり空間創出事業(天竜材(FSC認証材)を活用した非住宅建築物の木質化への支援)
- ・浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会(天竜材・FSC認証材の利用拡大に向けた官民連携協議会)
- ・(R3改)浜松市公共部門における地域材利用促進に関する基本方針(地元材・FSC認証材利用のルール化)
- ・木の癒し空間創出・検証事業(市庁舎において天竜材を活用した木質空間を創出)
- ・(R3新)オリパラレガシー創造事業(フォーラム開催、選手村で使用された天竜材のデザインコンペ) etc

〔地産外商〕

- ・天竜材国内販路拡大事業(全国で事業を展開する大企業等に対する天竜材のセールス活動)
- ・天竜材製品開発支援事業(天竜材を使用した木製家具等の開発と全国流通の支援)
- ・天竜材海外輸出事業(中国、韓国、台湾等への天竜材輸出)
- ・東京オリ・パラ関係施設等、大規模施設への天竜材供給 etc

森林啓発、インフラ整備

- ・森林・環境教育講座
- ・緑の防潮堤整備
- ・林道、治山、治水整備 etc

浜松市の森林・林業政策（森林環境譲与税の活用）

- 令和3年度の森林環境譲与税の譲与額は257,000千円（R1:120,400千円、R2:257,000千円）
- 新たに災害予防を目的とした森林整備事業や担い手確保・育成に対する助成事業を新設
- また、臨時事業（林道復旧）への対応として、基金積立金を活用
- 令和2年度から、森林環境譲与税を効果的・効率的に活用するため、林材業関係者等との協議の場として「浜松市森林・林業未来構想会議」を開催

〔 令和3年度森林環境譲与税活用事業 〕

（単位：千円）

No	事業名	内容	R3	R2
1	低コスト林業推進助成事業	林業経営体による森林作業道の開設、修繕、架線設置等に対する助成	70,000	70,000
2	天竜材の家百年住居助成事業	【拡充】FSC認証材の地域材を一定量以上使用して住宅を建築した施主に対する助成	52,000	-
3	森林経営管理推進事業	適切に管理されていない森林を、意欲と能力のある林業経営者に委ねるための意向確認及び経営管理権集積計画作成等	36,219	31,320
4	市単独治山事業	【新規】災害予防を目的とした森林整備に対する助成	27,000	-
5	天竜材ぬくもり空間創出事業	天竜材（FSC認証材）を活用した非住宅建築物の木造・木質化に対する助成	25,000	5,000
6	森林整備・林業振興事業	伐採適齢期を迎えた森林の主伐及び搬出、再造林並びに獣害対策等に対する助成	14,463	12,476
7	天竜材人材育成・担い手確保事業	・林業従事者の安全装備、給料、健康診断等に対する助成 ・【新規】新規就業者の技術力向上や担い手確保・育成活動等に対する助成	10,750	8,750
8	【新規】スマート林業推進事業	【新規】林道管理システム構築、マッピングGISデータ取得で林道情報のデジタル化	10,000	-
9	林道維持補修事業	【臨時】林道小松野線及び林道佐久間線の復旧等の維持補修	6,372	94,419
10	FSC認証材利用拡大推進事業	FSC認証材普及啓発推進のためのバスラッピング広告、ノベルティの配布	2,607	13,107
11	森林環境教育推進事業	市内外の学校や企業等を対象とした森林環境プログラムの受入	1,000	1,000
12	天竜材流通・販路拡大事業	天竜材の地産地消、製品開発及び海外輸出に対する助成	1,000	-
13	森林活用等都市間連携事業	天竜材販路拡大を図るため、首都圏の大都市等との連携促進	589	598
14	浜松こども館管理運営事業	こども館の床及び壁の更新に天竜材を活用	-	20,230
15	地球温暖化対策事業	二酸化炭素森林吸収調査	-	100
合 計			257,000	257,000

森林環境譲与税過年度積立分

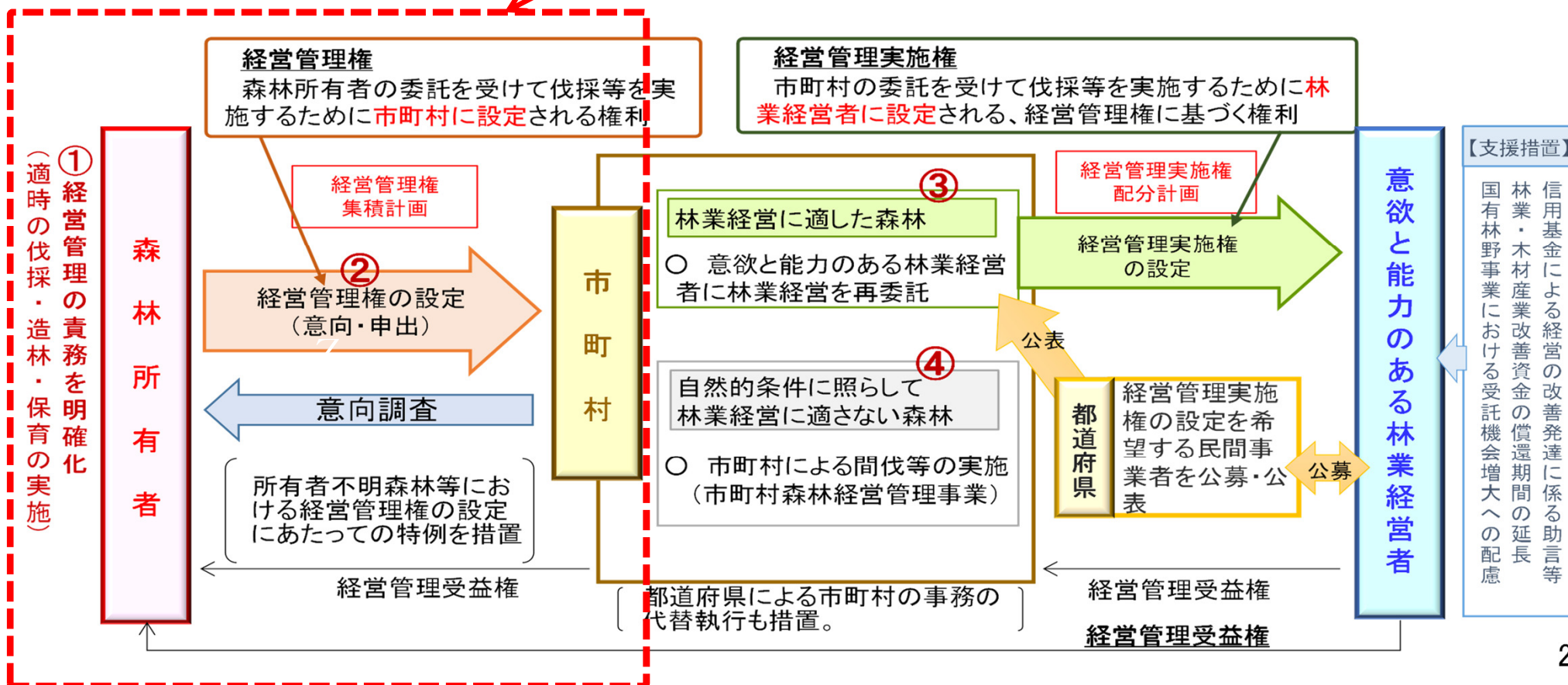
No	事業名	内容	R3	R2
16	林道維持補修事業	【臨時】林道小松野線及び林道佐久間線の復旧等の維持補修	31,887	19
合 計			31,887	-

主要事業(森林経営管理推進事業)

- 森林経営管理法に基づき、適切に管理されていない森林について、森林所有者の意向確認、経営管理権集積計画等の作成、同意の取得等を実施
- 森林経営計画樹立地が近接し、一体として森林施業が見込める森林を対象とし、経営管理権を設定せず民間事業者の森林施業を促進することを優先
→ 浜松市版「新たな森林管理システム」

〔森林経営管理法の概要の概要〕

委託範囲(経営管理権設定前まで)。経営管理権を設定せず、直接民間事業者の森林施業促進を優先することが浜松市版の特長



主要事業(森林経営管理推進事業)

- 令和2年度の調査結果は、森林所有者数:160人、面積:272ha
- うち、森林整備への同意は、135人、243ha(その他は森林整備内容の調整中 など)
- 森林整備の内容については、利用間伐が115人、193ha、保育間伐が28人、48ha
- 市町村森林経営管理事業の希望はなし(興味ある所有者は存在)

【令和2年度実績】

No	地域	委託業者	実績												備考
			森林所有者数【人】 (意向調査実施者)	調査対象面積【ha】 (簡易測量等実施地)	森林整備同意人数【人】	森林整備同意面積【ha】	(うち利用間伐同意人数【人】)	(うち利用間伐同意面積【ha】)	(うち保育間伐同意人数【人】)	(うち保育間伐同意面積【ha】)	(うち市町村森林経営管理事業実施人数【人】)	(うち市町村森林経営管理事業実施地【ha】)	森林整備同意回答待ち人数【人】	森林整備同意回答待ち面積【ha】	
1	春野	春野森林組合	28	66.01	28	64.32	26	62.55	2	1.77	0	0.00	0	0.00	未同意:1.69ha(2名) ※
2	水窪	水窪町森林組合	20	39.08	13	27.46	0	0.00	13	27.46	0	0.00	1	3.40	集積計画予定:2.76ha(1名) 緊急な施業必要なし:4.21ha(5名) 施業の意思なし:1.25ha(1名)
3	佐久間1 ／大井	佐久間森林組合	20	27.86	11	20.74	9	13.15	5	7.59	0	0.00	6	7.12	※
4	佐久間2 ／戸口	佐久間森林組合	8	15.95	8	15.95	7	12.03	1	3.00	0	0.00	0	0.00	緊急な施業必要なし:0.92ha (1名同意済) ※
5	龍山	龍山森林組合	36	43.25	33	39.79	33	33.85	4	5.94	0	0.00	3	3.46	※
6	天竜	天竜森林組合	13	28.26	13	28.26	11	26.44	2	1.82	0	0.00	0	0.00	
7	引佐	引佐町森林組合	35	51.23	29	46.33	29	45.71	1	0.62	0	0.00	6	4.90	※
			160	271.64	135	242.85	115	193.73	28	48.20	0	0.00	16	18.88	

主要事業(R3新規 天竜材人材育成・担い手確保事業)

- 林業従事者の安全装備、給料、健康診断等に対する助成に加え、**「浜松市森林・林業未来構想会議」での意見を踏まえ、新規就業者の技術力向上や担い手確保・育成活動等に対する助成を新設**
- 新規就業者技術力向上事業では、各種講習会開催経費、担い手確保・育成活動事業では、インターン受入や現場見学会等の開催経費を支援し人材育成や担い手確保を図る

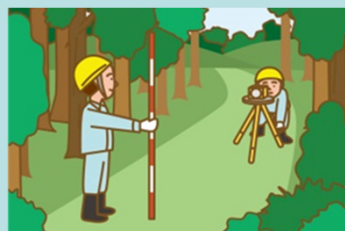
〔天竜材人材育成・担い手確保事業の概要〕

名称	補助対象者	補助対象事業	補助率及び上限額
新規就業者技術力向上事業	天竜材に関わる林業、木材製造業及び建設業の市内に主たる事務所等を有する事業者又は世帯を別にする3人以上の市内に住所を有する者で構成された団体 など	新規就業者が1名以上参加する技術力向上に関する研修会等の開催	1/2以内 (上限200千円／事業)
担い手確保・育成活動事業		担い手確保につながるインターンシップや現地見学の開催	1/2以内 (上限100千円／事業) (インターンシップ:上限50千円／人) (現地見学:上限20千円／人)

【こんなときに♪／新規就業者技術力向上事業】

自伐林家団体に作業道開設に関する講習会を行いたいが、講師の費用がない…

→ 講師謝礼や旅費を補助



【こんなときに♪／担い手確保・育成活動事業】

子どもたちに森林の大切さや林業の重要性を教えるため現地見学会を行いたいが、予算がない…

→ スタッフ賃金や使用料を補助



主要事業(R3新規 スマート林業推進事業)

- 林道情報のデジタル化を進めることで災害の発生状況を早期に把握・対応するとともに、通行止め等の交通情報を住民に対し迅速に周知することにより、住民の安心・安全を図る

〔スマート林業推進事業の概要〕

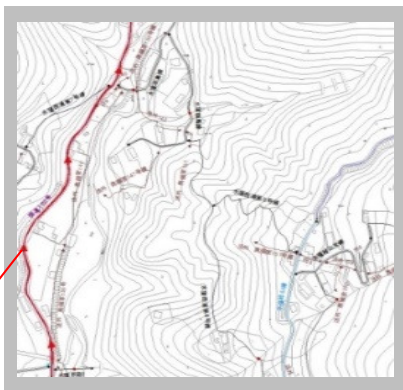
(1) 林道管理システム構築

- ・林道全路線204路線(約700km)が対象
- ・林道に関する情報(地形・線形、橋梁等の構造物、河川、他路線との位置関係)の一元管理
- ・土木部所管道路(国・県・市道)と同じシステム上で運用し、近接地域における災害発生時等の相互確認により、不通時の代替道路の迅速な調整が可能

(2) マッピングGISデータ取得

- ・車載カメラの360度撮影での全周囲情報(位置、路面、法面及び路肩等)取得による被災前の詳細情報の把握(主要16路線)
- ・レーザー測量の3次元データ活用による、法面等の構造物のリモート計測及び復旧工法の検討等の迅速化・省力化

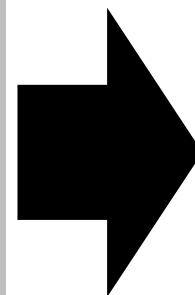
〔導入イメージ〕



路線詳細情報(橋梁、カーブミラーなど)を表示



GISデータ取得により被災前の詳細情報がリモートで把握可能



被災規模の把握、復旧方法の検討に有効

迅速な復旧による森林施業の再開、生活道路の復旧

主要事業（地産地消1：R3拡充天竜材の家百年住居（すまい）る事業）

- 今年度に事業を拡充（森林環境譲与税活用）し、新型コロナウイルス感染症に関する経済対策として上限金額の拡充（35万円→50万円）
- 対象木材をFSC認証材に特化し、工務店までFSC（COC）を取得している場合は、追加助成を実施
- その他、本市では他事業（植林、間伐、枝打等）においても、FSC認証林・FSC認証材にインセンティブを設けており、FSCを核とした選択と集中のある森林・林業施策を実施

〔 浜松市内の住宅着工数と住宅助成事業の推移 〕 (戸)

年度	住宅着工数	うち 木造住宅	木造住宅 割合	市住宅助成 事業実績	うちFSC材 使用実績
H19	8,787	4,524	51%	100	—
H20	8,587	3,952	46%	119	—
H21	6,245	3,750	60%	188	—
H22	6,172	3,874	63%	298	—
H23	5,371	3,741	70%	230	92
H24	5,720	3,783	66%	194	73
H25	6,614	4,630	70%	250	100
H26	5,383	3,437	64%	214	94
H27	5,195	3,504	67%	199	94
H28	5,573	3,782	68%	207	110
H29	5,593	3,606	64%	218	149
H30	5,332	3,665	69%	181	115
R1	5,262	—	—	146	94
R2	調査中			131	79
合計	79,834	46,248	—	2,675	1,000

※ 「住宅着工数」と「うち木造住宅」は、住宅課調べ

※ 令和元年度から市町村別の木造住宅数の集計は廃止

- H23～R2の10年間で1,000棟の住宅にFSC認証材が使用
- 1棟の木材使用量を15m³と仮定し、その50%でFSC認証材が使用されたとすると、10年間で約7,500m³のFSC認証材が使用



〔天竜材が使用された木造住宅〕

主要事業(地産地消2:天竜材ぬくもり空間創出事業)

- 非住宅建築物への木材利用の機運が高まる中、天竜材の新たな需要創出や地産地消による流通量拡大を目的に、平成30年度から非住宅建築物への天竜材使用に対する助成制度を新設
- 令和2年度に制度を拡充(森林環境譲与税活用)し、非住宅建築物の新築・増改築等におけるFSC認証材の購入費及び非住宅建築物への木製家具の購入費について支援

〔事業の概要〕

FSC認証材を使用する非住宅建築物の木造・木質化に対する助成事業

○ 補助対象者

非住宅建築物の木造・木質化を行う施主

○ 補助対象事業

(1) 非住宅建築物の新築・増改築・改修・改装

FSC認証材を使用して非住宅建築物の木造・木質化を行う事業

(2) 非住宅建築物への木製家具の導入

非住宅建築物へFSC認証製品の木製家具を導入する事業

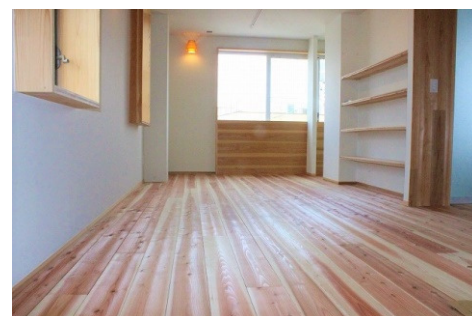
○ 補助金額

(1) FSC認証材の購入費の1/2【上限:200千円/m³】

(2) 木製家具の購入費1/2【上限:2,500千円】

○ その他

令和2年度から森林環境譲与税を活用



【平成30年度本補助金活用事例】



【令和元年度本補助金活用事例】



【平成30年度本補助金活用事例】

主要事業（地産地消3：公共部門における地域材利用促進に関する基本方針）

- 「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」に基づき、市内の公共建築物等の整備において木材並びにFSC認証材の利用を促進するために定めるもの
- 令和3年度から第4期がスタートし、森林環境譲与税を有効活用し積極的に木造・木質化を推進するとともに、スギ・ヒノキは「地域産のFSC認証材を100%使用する」ことを明記

〔「浜松市公共部門における地域材利用促進に関する基本方針（第4期）」の概要〕

【本方針の実施期間】

令和3年度から令和7年度の5カ年

【木材の利用の促進のための施策の具体的方向性】

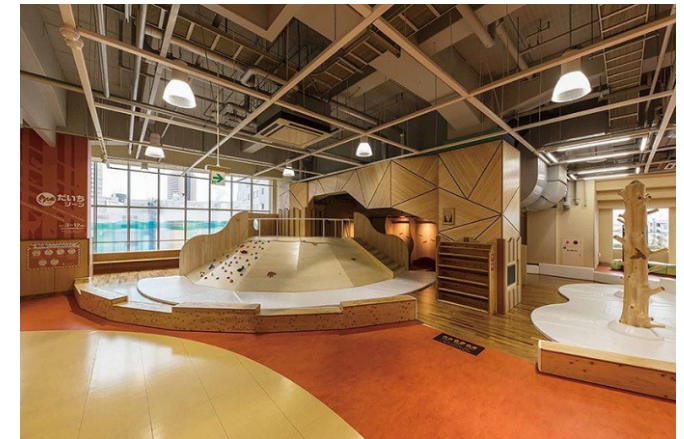
- ア 森林環境譲与税を有効活用し、積極的に木造・木質化を推進するとともに、地域産のFSC認証材を活用
- イ FSC認証材を活用した場合は、積極的にFSCプロジェクト認証（全プロジェクト認証または部分プロジェクト認証）を取得
- ウ 木造・木質化にあたっては、FSC認証材により製造されたCLT（Cross Laminated Timber／直交集成板）の活用を検討
- エ 大規模施設の改築・新設時には、柱・梁等の主要構造物への新しい技術による集成木材の活用を検討
- オ 公共的建築物において使用される備品（机、いす、書棚等）及び消耗品（封筒、名刺、文房具等）については、木材を使用したものの利用、導入に努めるとともに、積極的に地域産のFSC認証材を利用した製品を活用

【公共建築物等における木材利用の目標】

公共建築物等に使用する木材のうち、スギ及びヒノキについては、地域産のFSC認証材を100%使用

【その他】

- ・ 第4期方針から、今後、市が整備予定の公共建築物等を記載



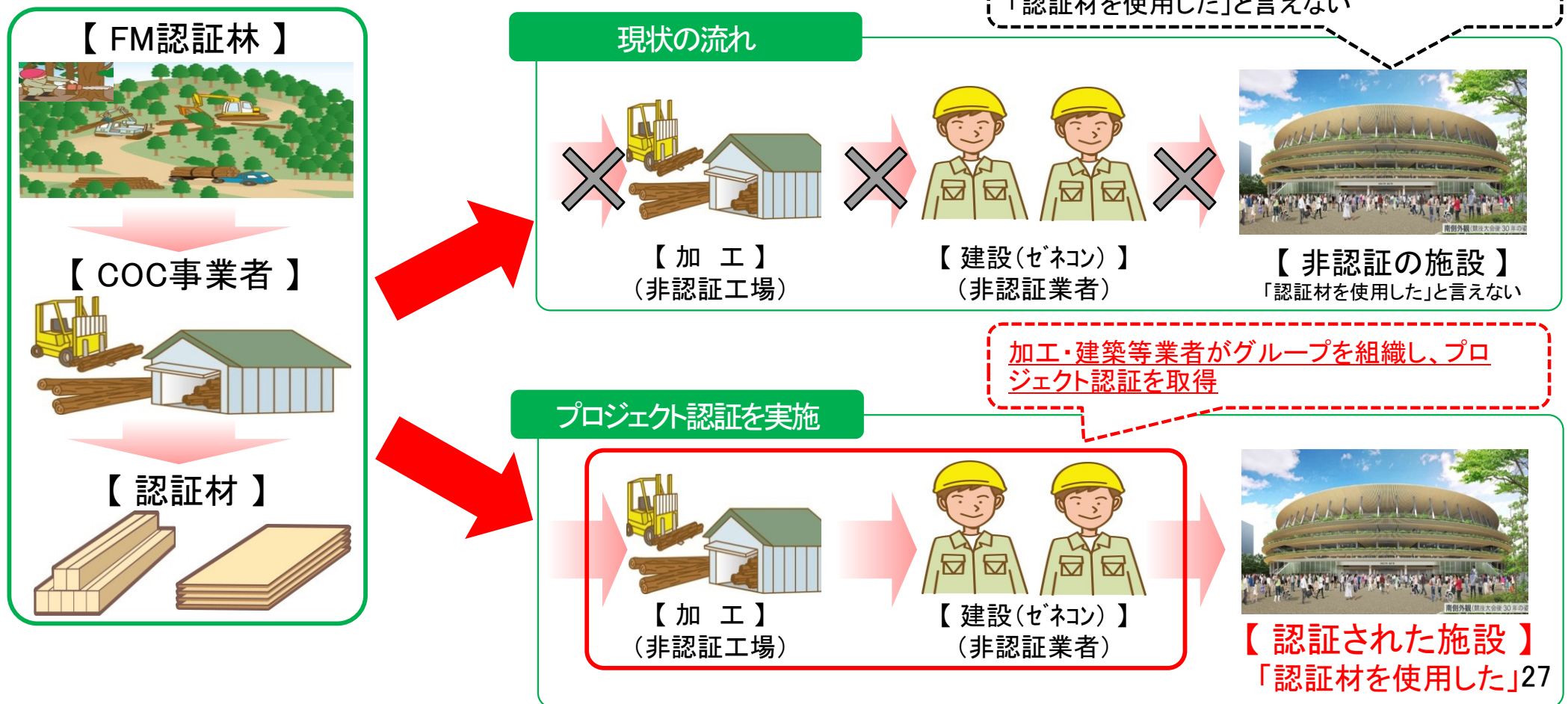
【PSCPJ認証を取得した浜松こども館】



主要事業（地産地消3：公共部門における地域材利用促進に関する基本方針）

- FSC森林認証には、森林管理が対象のFM(Forest management)認証と加工・流通・工務店等が対象のCOC(Chain of Custody)認証が存在
- 通常、COC取得業者がチェーンを繋いでFSC製品となるが、COC認証を取得していない加工・建築等業者が連携して「FSC認証の製品」と主張する「プロジェクト認証制度」が存在

〔プロジェクト認証制度の概要〕



主要事業（地産地消3：公共部門における地域材利用促進に関する基本方針）

【天竜区役所／全国で初めて、公共建築物の一部でFSCプロジェクト認証を取得】

- 平成23年3月、新設した天竜区役所の一部（家具、受水槽、区長室内腰壁）において、建設に関わった企業が連携し、FSCサプライチェーンを構築し、公共建築物として全国で初めてFSCプロジェクト認証を取得

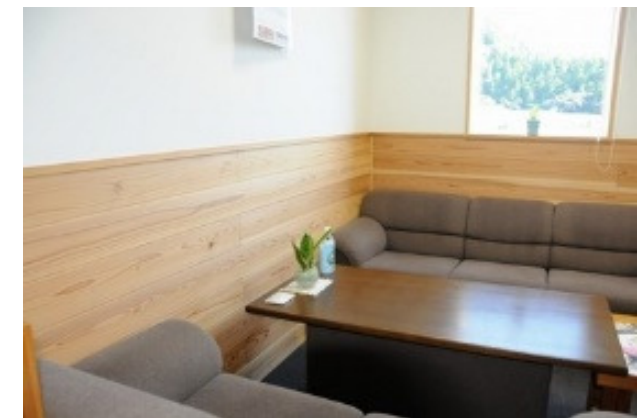
【FSC認証材使用量／7m³、登録認証番号／SA-PRO-002806】



【天竜区役所の内装】



【FSC認証材を使用した受水槽】



【FSC認証材を使用した区長室の腰壁】

主要事業（地産地消3：公共部門における地域材利用促進に関する基本方針）

【浜松中部学園／全国で初めて、学校施設でFSCプロジェクト認証を取得】

- 平成29年4月に開校した浜松中部学園において、学校施設として全国で初めてFSCプロジェクト認証を取得
- プロジェクト対象部分以外にも天竜材を使用したFSC認証製品の木製机・椅子を導入
【FSC認証材使用量／51m³、登録認証番号／SA-PRO-005609】



【間仕切りにFSC認証材（スギ・ヒノキ）を使用】



【腰板にFSC認証材を使用】



【FSC認証材を使用した学童机・椅子】

主要事業（地産地消3：公共部門における地域材利用促進に関する基本方針）

【浜松市立浜名中学校／学校施設として全国最大のFSC認証材使用量】

- 平成30年3月に完成した浜名中学校において、FSCプロジェクト認証を取得し、全国最大のFSC認証材を使用量
- 本プロジェクト認証対象部分以外にも全普通教室と音楽室に天竜材を使用したFSC認証製品の木製机・椅子を導入

【FSC認証材使用量／215m³、登録認証番号／SA-PRO-006221】



【間仕切りにFSC認証材（スギ・ヒノキ）を使用】



【屋内運動場棟の多目的ホール(上)や武道場(下)にもFSC認証材を使用】



主要事業（地産地消3：公共部門における地域材利用促進に関する基本方針）

【浜松こども館／公共の類似児童施設として日本で初めてFSCPJ認証を取得】

- 令和3年4月にリニューアルオープンした浜松こども館において、公共の類似児童施設として日本で初めてFSCプロジェクト認証を取得
- 次世代の主演となる多くの子どもたちにFSC森林認証や地元産天竜材を使うことの大切さを紹介するとともに、本市が進める持続可能性に配慮した木材調達を全国に発信
【FSC認証材使用量／8m³、登録認証番号／SA-PRO-010149】



【構造材やフローリングにFSC認証材(スギ・ヒノキ)を使用】



【子どもホール(上)にFSC認証材を使用】



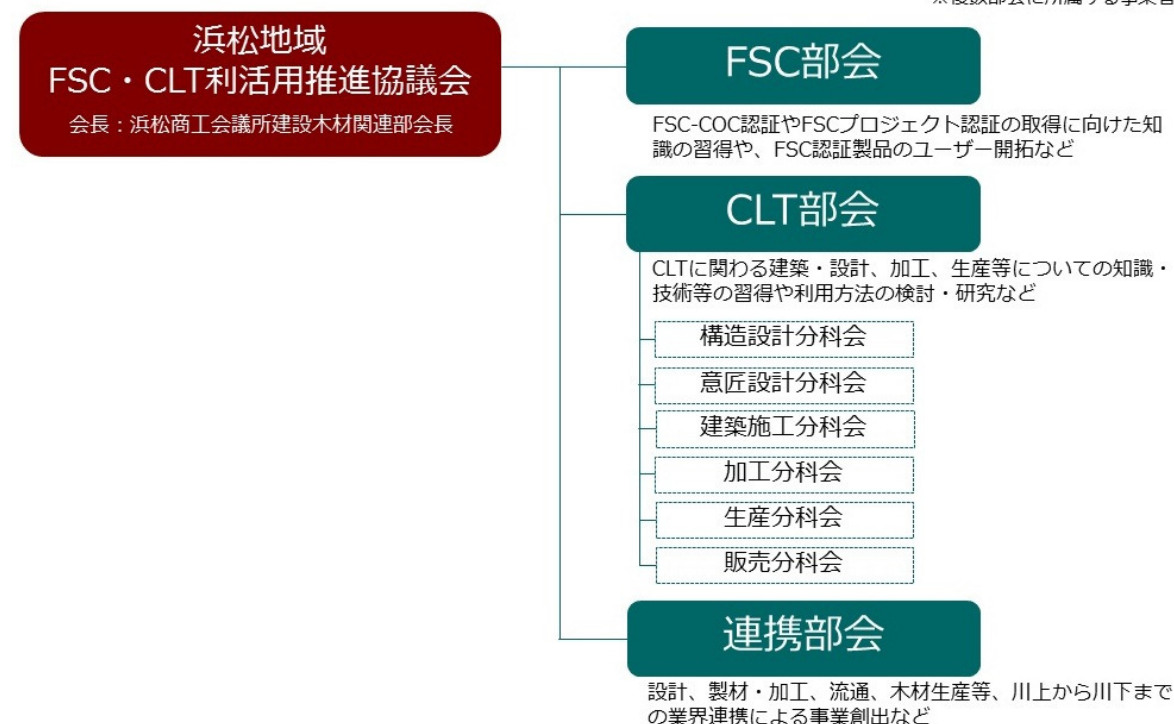
【エレベーターホールにも天竜材】 31

主要事業(地産地消4:浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会)

- 天竜材(FSC認証材)の地産地消の推進を目的に、平成28年6月「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」を設立
- 協議会には、木材の供給サイド(林業事業体・木材関連事業者)と利用サイド(建設・設計事業者)、さらには、木造・木質物件の発注者でもある行政や、建築物の資金需要を支援する金融機関など地域内外の業界を超えた約120社・団体が参画

〔活動内容〕

※複数部会に所属する事業者有



【セミナー】



【ワークショップ】



【物件見学】



【加工工場見学】

〔参加事業者 業種内訳〕

建築:40 設計:14 製材:15 流通:19 素材生産:8 金融機関:3 行政:1 その他:16

〔オブザーバー〕

林野庁 静岡県 FSCジャパン

主要事業(地産地消4:浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会)

浜松信用金庫於呂支店／FSC認証材使用

- プロジェクト制度を活用し、金融機関の建築物としては全国初の「FSCの店舗」と認められた店舗



磐田信用金庫豊田支店／天竜材使用

- 本協議会への参加がきっかけで、地元・天竜材を店舗に使用



主要事業(地産地消4:浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会)

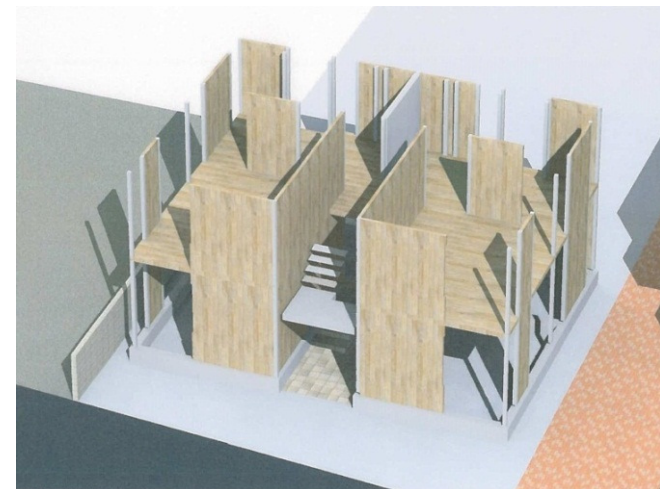
遠州信用金庫中島支店／CLT使用

- 店舗にCLTを使用するだけでなく、一部には、FSC認証材を活用(FSCプロジェクト認証取得)



民間共同住宅／CLT使用

- 本協議会への参加がきっかけで、民間企業(地元ゼネコン)が共同住宅にCLTを使用

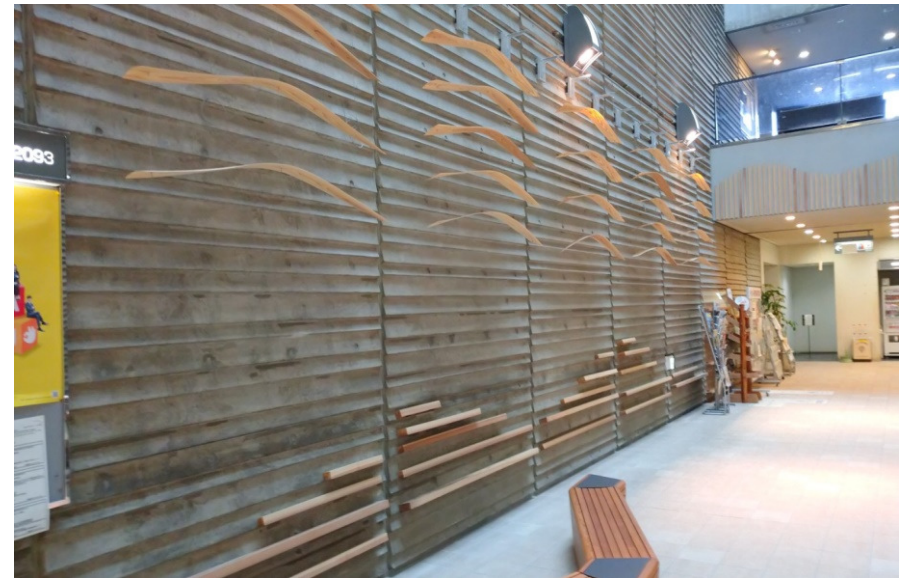


主要事業(地産地消5:木の癒し空間創出・検証事業)

- 東京2020大会関連施設で多くの天竜材が活用されており、広く市民に本市のFSC認証の取組や天竜材の良さをPRする好機である現在、市庁舎において、天竜材(FSC認証材)を活用した木質空間を創出し、天竜材及び天竜材製品の需要拡大を図る
- 公募型プロポーサルにより委託業者を決定し、令和3年2月末に木質化が完成



主要事業(地産地消5:木の癒し空間創出・検証事業)



主要事業(地産地消6:R3新規オリンピック・パラリンピックレガシー創造事業)

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設(有明体操競技場、選手村ビレッジプラザ)に多くの天竜材(FSC森林認証材)が使用
- この取組を広く周知し、持続可能性や環境配慮の考え方をレガシー(遺産)として広く市民に浸透させることにより、天竜材の普及啓発、販路拡大を図る

「天竜材フォーラム2021」の開催(予定)

- 日時 令和3年12月10日(金)
 - 場所 アクトシティ浜松コンgresセンター
 - 内容
 - ① 天竜材が使用されたオリパラ施設の紹介等
 - ② オリパラ関係者基調講演
 - ③ 著名人基調講演
 - ④ パネルディスカッション(市長、著名人ほか)
 - ⑤ 後利用コンペ最優秀賞の発表
- ※ その他 現在、HPで受託業者募集中



【天竜材が使用された有明体操競技場】

「Used in Village Plaza」天竜材後利用事業

- 時期と内容
 - ・ 選手村ビレッジプラザで使用された天竜材のデザインコンペ実施(令和3年6月頃～)
 - ・ 公共部門(ベンチ製作や内装材での使用)及びノベルティ部門の2部門で実施予定
 - ・ 最優秀賞等の製品化(令和3年10月頃～)
- 参考(選手村で使用された天竜材の量)
 - ・ 約32^m (スギ:1,436本)



【選手村ビレッジプラザと使用された天竜材】

主要事業(地産外商1:国内販路開拓事業)

- 平成26年度から、天竜材の販路拡大やFSC森林認証のPRを目的に、日本最大の住宅・建築関連専門展示会である「Japan Home & Building Show」に浜松市ブースを出展
- 天竜材の認知度向上や新たな交流の創出、これまでに知り合った大手ゼネコン・設計業等関係者との継続的・定期的な意見交換の機会となっている

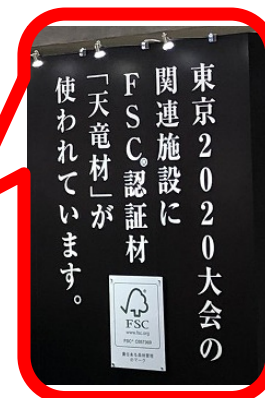
イベントの概要(直近:令和元年度)

- 日時
令和元年11月13日(水)～15日(金)
- 場所
東京ビッグサイト(東京都江東区有明)
- 展示内容
 - ・FSC認証材の供給体制の紹介
 - ・東京2020大会関連施設での天竜材使用PR
- 実績
 - ・ブース来訪者／約900人
(H30:400人、H29:1,000人、H28:950人)
 - ・名刺交換数／161枚
(H30:101枚、H29:255枚、H28:204枚)
- その他
 - ・令和元年度から森林環境譲与税を活用

〔29年度展示内容〕



〔31年度展示内容〕



主要事業(地産外商1:国内販路開拓事業)

- 天竜材の販路拡大を目的としたミーティング「天竜材セールスミーティング」を開催
- 平成27年度は、東京オリパラ関連施設への天竜材使用を目的にスーパーゼネコンや大手設計業者等を招き、平成29年度は家具関係、平成30年度は環境先進企業への天竜材の販路拡大を目的に開催

27年度ミーティングの概要

- 日時 平成27年9月7日(月)
- 場所 東京都千代田区(都市センターホテル)
- 目的 東京オリパラ施設への売込
- 招待 ゼネコン(鹿島建設、清水建設、竹中工務店)、設計(日建設計、久米設計)等



29年度ミーティングの概要

- 日時 平成30年3月22日(木)
- 場所 東京都千代田区(都市センターホテル)
- 目的 家具での天竜材使用の推進
- 招待 大手家具メーカー(コクヨ、トーキ、岡村製作所、内田洋行、乃村工藝社等)



30年度ミーティングの概要

- 日時 平成30年11月15日(木)
- 場所 東京都千代田区(砂防会館)
- 目的 環境先進企業への天竜材紹介
- 招待 イオン、花王、明治、スターバックス、三越伊勢丹等



主要事業(地産外商2:天竜材製品開発支援事業)

- 天竜材の販路拡大・新分野展開、天竜ブランドの確立等を目的に、平成29年度から大手家具製造メーカーと連携した製品開発事業を開始(開発費用の1/2、上限400万円)
- 平成29年度は、(株)イトーキとの連携による健康チェアを製作
- 平成30年度は3社と(株)イトーキ、(株)オカムラ、ナイス(株)、令和元年度は1者と(飛騨産業(株))連携して実施

〔事業実績〕



主要事業(地産外商3:天竜材海外輸出事業)

- 天竜材の販路拡大を目的に、平成29年度からコンテナによる海外輸出を開始
- ターゲットは中国、韓国、台湾等で、海外輸出は、他産地材との混載によるバルク船によるものと天竜材単独によるコンテナによるもの二方向で実施

【事業実績／838m³】

- ・ 平成29年度／計 46m³ (台湾／スギ)
- ・ 平成30年度／計417m³ (台湾、ベトナム／スギ、ヒノキ)
- ・ 令和元年度／計375m³ (台湾、ベトナム／スギ、ヒノキ)
- ・ 令和2年度／計634 m³ (台湾、ベトナム／ヒノキ、ケヤキ)



【台湾へ輸出した天竜スギ】

主要事業(地産外商4:東京オリ・パラ関係施設等への天竜材供給)

- 大型木材工場が立地しない本市では、中小製材事業者等が連携して大型物件にも対応可能な天竜材の安定供給体制を確立(天竜材水平連携協議会の設立)
- 本協議会は、静岡県草薙総合運動場体育館に高品質天竜材を大量供給した実績あり
- 本地域では、東京オリ・パラ施設への天竜材の納材をこの「浜松スタイル」で実現し、今後、全国の大型物件への天竜材の安定供給を目指す

浜松スタイルの木材供給体制

市内森林組合
+

高品質天竜材
(FSC認証材)供給

840m³
(製品ベース)

静岡県草薙総合運動場体育館
「このはなアリーナ」

平成27年度木材利用優良施設コンクール
農林水産大臣賞受賞

中小製材事業者等
17社

東京2020大会への
天竜材(FSC認証材)供給

458m³
(製品ベース)

東京2020大会関連施設
(有明体操競技場など)

大型物件にも対応可能な天竜材安定供給体制

天竜材水平連携協議会
(天竜国産材事業協同組合)

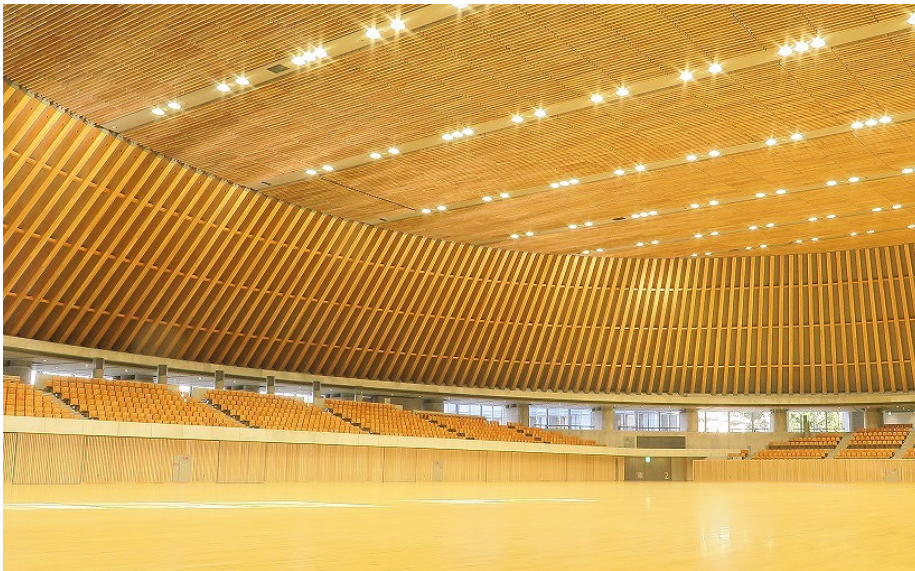
天竜材(FSC認証材)
供給を目指す

全国各地の大型物件

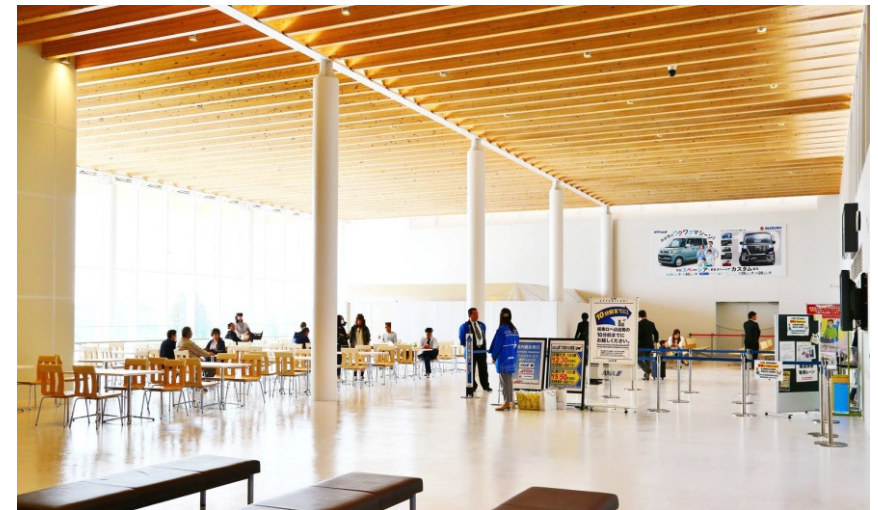
主要事業(地産外商4:東京オリ・パラ関係施設等への天竜材供給)

〔天竜材水平連携協議会における天竜材納材実績〕

静岡県草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」



静岡空港ターミナルビル増築・改修



主要事業(地産外商4:東京オリ・パラ関係施設等への天竜材供給)

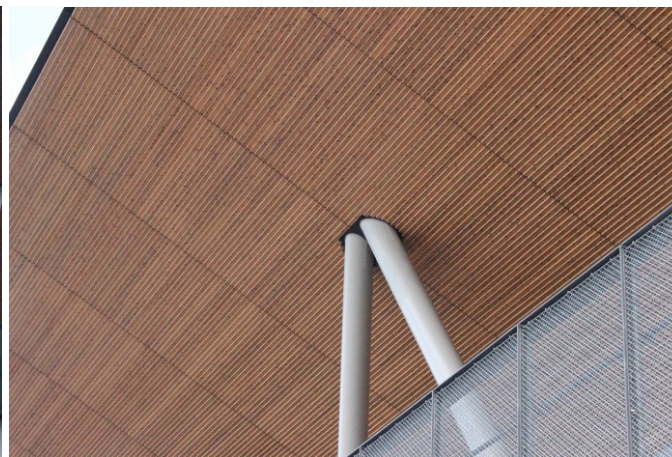
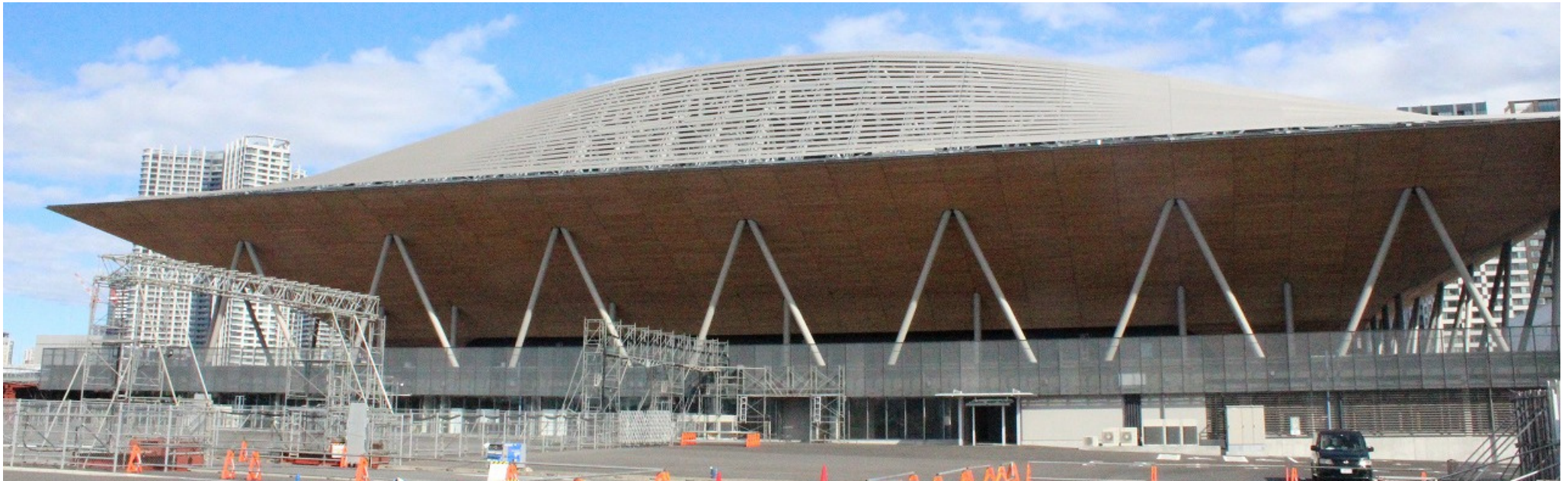
- 浜松市は、FSC森林認証取得面積(市町村別)が全国1位
- この広大な認証面積や全国屈指のFSC認証材供給能力を基に、東京2020大会関連施設での天竜材(FSC認証材)使用を実現(有明体操競技場、選手村ビレッジプラザなど)

【五輪関連施設での天竜材使用の効果】

- ・ 会期中／世界中の人を対象としたアンテナショップとして天竜材をPR
- ・ 会期後／天竜材のマーケティング拠点として活用
- ・ FSC認証材大量供給の実績／地域ブランドとして認知度向上



主要事業(地産外商4:東京オリ・パラ関係施設等への天竜材供給)



〔 有明体操競技場 〕

- 主な木材使用箇所は、大梁（約1,500m³）と外装材等（約800m³）
- 外装材は本市を含む3地域が納材し、本市が約426m³を納材しトップシェア

主要事業(地産外商4:東京オリ・パラ関係施設等への天竜材供給)

- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、「日本の木材活用リレー ～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～(※)」を実施
- 本市は、このプロジェクトに参画し、**選手村ビレッジプラザの建設に際して、天竜材(FSC認証材)を32.29m³供給(無償貸付)**

〔※ 日本の木材活用リレー
全国各地の自治体から借り受けた国産木材を使用して選手村ビレッジプラザを建築し、
大会終了後、使われた木材をレガシーとして各地で活用するプロジェクト〕



【内覧会の様子(令和2年1月29日)】



【天竜材納材出発式の様子(令和元年9月11日)】

〔 天竜材供給（無償貸付）の概要 〕

- 樹種／スギ（FSC認証材）
- 部材／構造用製材
- 供給量／32.29m³
- 供給時期／令和元年9月～10月（全4回）



主要事業(新型コロナウイルス感染症対策)

- 新しい生活様式支援天竜材活用事業」／3密対策を目的とする天竜材(FSC認証材)を使用した木製什器の購入・設置に対する助成事業を新設し、「新しい生活様式」への移行を促進するとともに、天竜材(FSC認証材)の利用拡大を図る
- 天竜材の家百年住居(すまい)る事業)／新型コロナウイルス感染症に関する経済対策として、上限金額の拡充(35万円→50万円)

新しい生活様式支援天竜材活用事業

- 対象者／FSC認証材を使用した木製什器を購入・設置した事業者や自ら木製什器を作製・設置した事業者
- 対象経費／木製什器の購入費、FSC認証材の購入費(木製什器を自ら作製・設置した場合)
- 補助率／2/3(上限:500千円)

3密対策に天竜材を使用することで、森林資源の循環利用が推進され市内森林の保全やSDGsの実現を応援！

〔天竜材(FSC認証材)を使用した3密対策製品〕

